

日本初※空き家を海の一次産業拠点へ再生
クールコネクト、「古民家育ちの海なしウニ/クエ」の養殖事業を開始
～遊休不動産を活用し、地域に新たな産業を生む「空き家×陸上養殖」モデルを推進～



※クールコネクト調べ

この度、新たな地域産業を生み出す地域共創スタートアップのクールコネクト株式会社（本社：群馬県伊勢崎市、代表取締役：神戸 翔太）は、2026年3月11日より、空き家を活用したウニおよびクエの養殖事業を開始したことをお知らせします。

本事業は、空き家活用型海産ブランド「古民家育ちの海なしウニ/クエ」として、使われなくなった住宅や遊休不動産を養殖施設へとリノベーションし、高付加価値海産物であるウニとクエの生産拠点として再生する取り組みです。これまで当社は、「空き家×一次産業」の取り組みとして、きくらげ・しいたけの栽培事業を展開してまいりました。今回、その知見をもとに事業領域をさらに拡張し、新たにウニ・クエの養殖事業を開始します。空き家活用の可能性を“山の産業”から“海の産業”へと広げることで、空き家問題の解決に取り組みながら、新たな地域産業の創出と持続可能な事業モデルの構築を目指します。

■本取り組みの背景

全国的に空き家の増加が社会課題となる一方、一次産業の現場では担い手不足や収益性の確保、新たな生産モデルの構築が求められています。こうした中、クールコネクトはこれまで、「空き家×一次産業」で、使われなくなった住宅や遊休不動産を活用したきくらげ・しいたけの栽培事業を展開してまいりました。

空き家を単なる“余った不動産”として捉えるのではなく、地域に新たな雇用や収益を生み出す生産拠点へと転換する取り組みを進める中で見てきたのが、空き家活用の可能性は農産物栽培にとどまらず、より高付加価値な一次産業へも広げられるということです。

そこで今回、当社は新たにウニとクエに着目しました。ウニは国内外で高い需要を有する海産物であり、クエは希少性と高単価を兼ね備えた高級魚として知られています。これまで培ってきた空き家活用や施設運営の知見を活かし、事業領域を“山の産業”から“海の産業”へと拡張することで、空き家問題の解決と新たな地域産業の創出を同時に実現してまいります。

■事業概要

開始日：2026年3月11日

実施場所：群馬県 伊勢崎市

活用物件：戸建て空き家

養殖対象：ウニ・クエ

販売先：伊勢崎市内スーパーや市場など（12月を予定）



▲ウニ



▲クエ

■本事業の特徴

1. 空き家活用の知見を、海産物養殖へ展開

当社はこれまで、空き家を活用したきくらげ・しいたけ栽培を通じて、遊休不動産を生産拠点として再生するノウハウを蓄積してきました。本事業ではその知見を活かし、新たにウニ・クエの養殖へと展開。空き家活用の可能性をさらに広げます。

2. 高付加価値商材による新たな収益モデルを構築

ウニとクエは、いずれも高い市場価値を持つ商材です。こうした高付加価値海産物を扱うことで、空き家活用を単なる不動産再生にとどめず、収益性を備えた事業モデルとして成立させることを目指します。

3. 空き家問題と地域産業の創出を同時に解決

空き家の増加、地域経済の縮小、一次産業の担い手不足といった複数の社会課題に対し、本事業はひとつの仕組みで向き合う取り組みです。活用されていなかった不動産に新たな役割を与えることで、地域に新しい産業と雇用の可能性を生み出します。

4. 山から海へ広がる、クールコネクトの一次産業モデル

きくらげ・しいたけ栽培で培った知見を基盤に、今回新たに海産物領域へ参入することで、当社の一次産業モデルはさらに広がります。今後も地域特性や物件特性に応じて、空き家を活用した多様な生産モデルの展開を目指してまいります。

■クールコネクト株式会社

クールコネクト株式会社は、「空き家問題」と「地方の一次産業課題」を同時に解決し、収益と社会貢献を両立させる農業スタートアップです。空き家を農業拠点となる収益物件へ転換する独自モデル（特許申請中）を展開し、投資家の資産形成と地域の雇用維持に貢献しています。

【PRESS RELEASE】



会社名：クールコネクト株式会社

代表者：神戸 翔太

所在地：群馬県伊勢崎市八斗島町 938-139

TEL：0270-33-9191

URL：<https://www.cool-c.com/>

事業内容：収益不動産販売・管理受託、農産物・海産物の生産・販売 など